
調査の概要

1 調査実施概要

調査の目的	近年、全国的に自治会加入世帯数が低下傾向にあり、当市においても同様の状況にあります。人口減少や少子高齢化といった課題が地域に影響を及ぼす中、今後とも住みよい地域を持続していくための自治会加入促進に向けた取組は喫緊の課題と言えます。 「自治会加入状況等に関する調査」は、各地域、各自治会の現状を把握し、自治会加入促進策を検討する基礎資料とするため、実施したものです。
調査時期	平成29年10月
調査対象	自治会連合会加盟198自治会
回答数	163自治会
回答率	82.3%

《集計結果の見方》

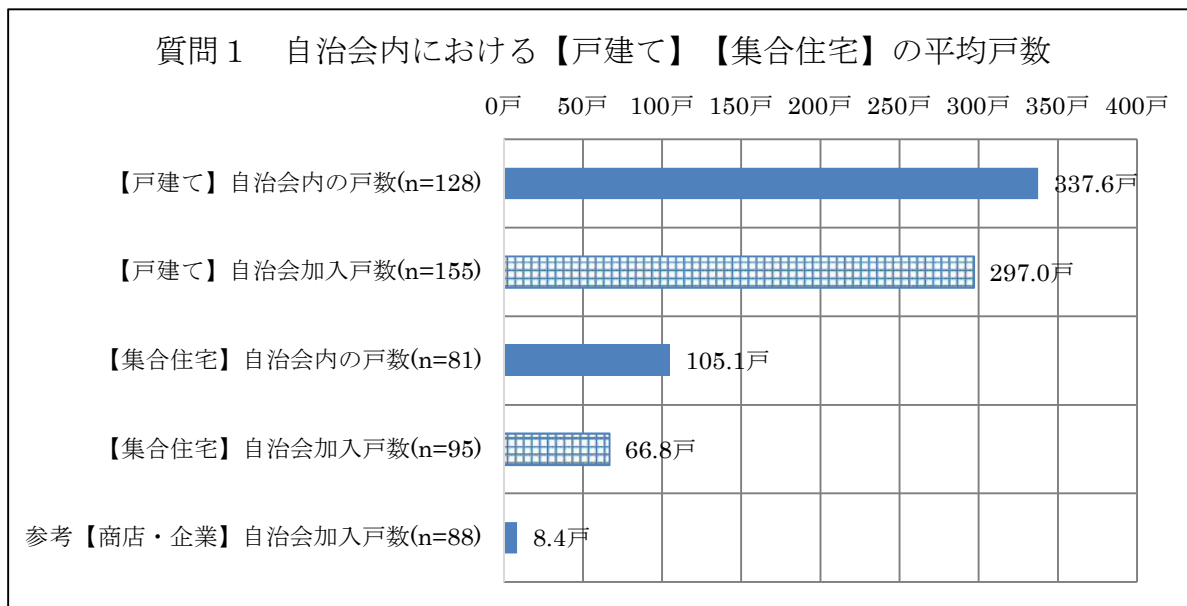
- ・集計結果の百分率(%)については、少数点以下第2位を四捨五入して表示している。
- ・図(グラフ)の中で使用されているアルファベット(N)は回答者数、(n)はその設問に対する回答数である。
- ・複数回答の設問については、各選択肢の回答構成比の合計が100%を超える。

Ⅱ 調査結果

1 自治会への加入について

質問内容：自治会内の全戸数及び自治会に加入している戸数を教えてください。

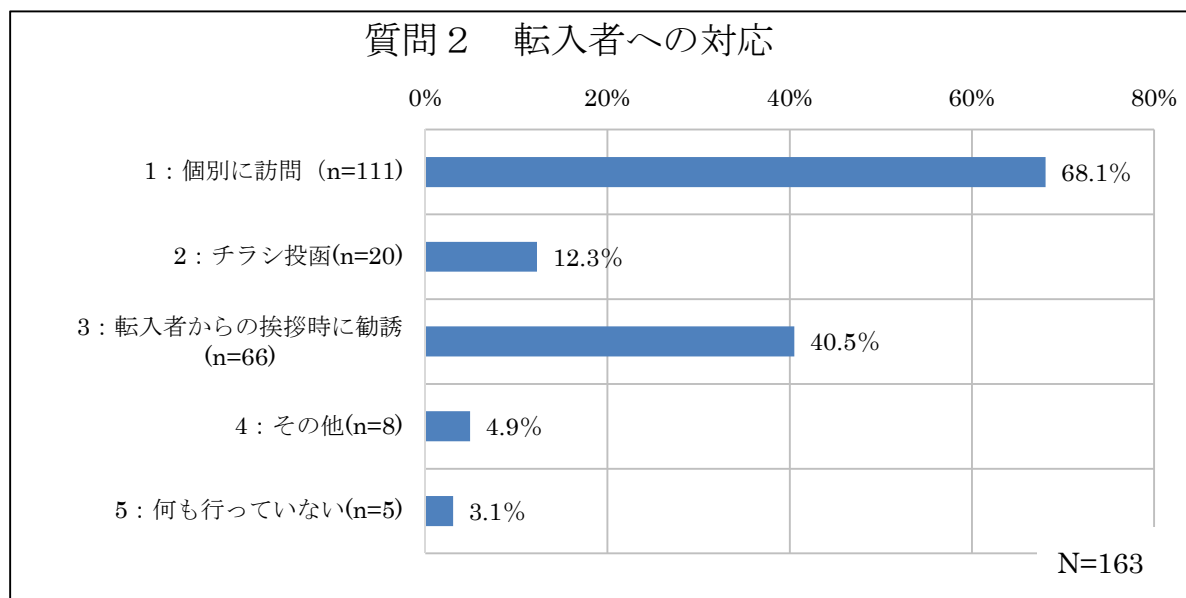
1 自治会あたりの【戸建て住宅】の平均戸数は 337.6 戸、うち自治会加入世帯戸数は 297 戸となっている。また、1 自治会あたりの【アパート・マンション等の集合住宅】の平均戸数は 105.1 戸、うち加入世帯戸数は 66.8 戸となっている。



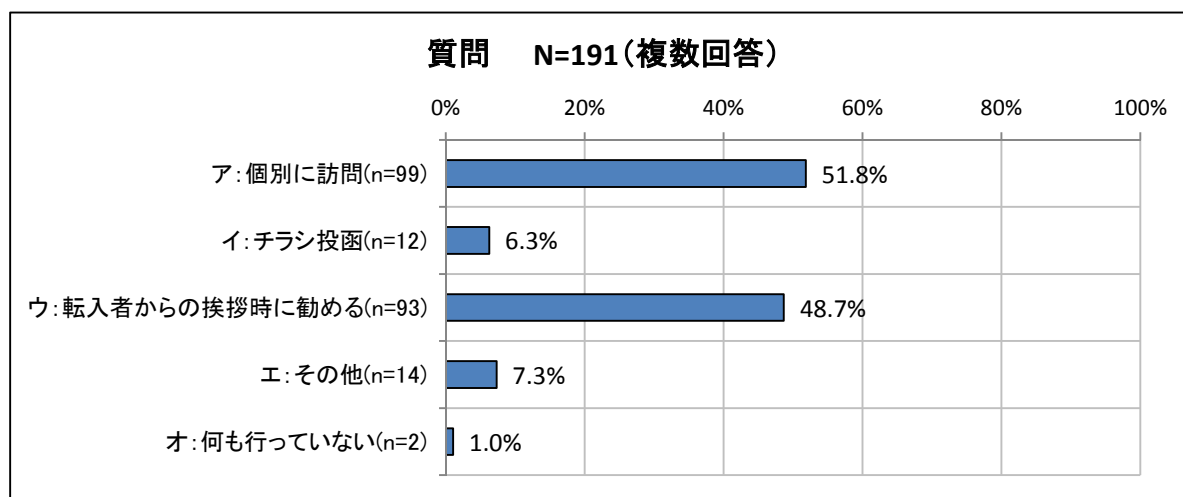
2 転入者への対応について

質問内容：転入者への対応はどのようにされていますか。(複数回答可)

転入者への対応については、「個別に訪問」(68.1%)が最も多く、次いで「転入者からの挨拶時に勧める」(40.5%)となっている。「その他」(4.9%)としては、「自治会規約を投函している」などの回答があった。なお、前回の平成25年調査と比較して「個別に訪問している」自治会が99自治会から111自治会に増加しており、積極的な自治会が増えていると考えられる。



【参考：平成25年調査結果】

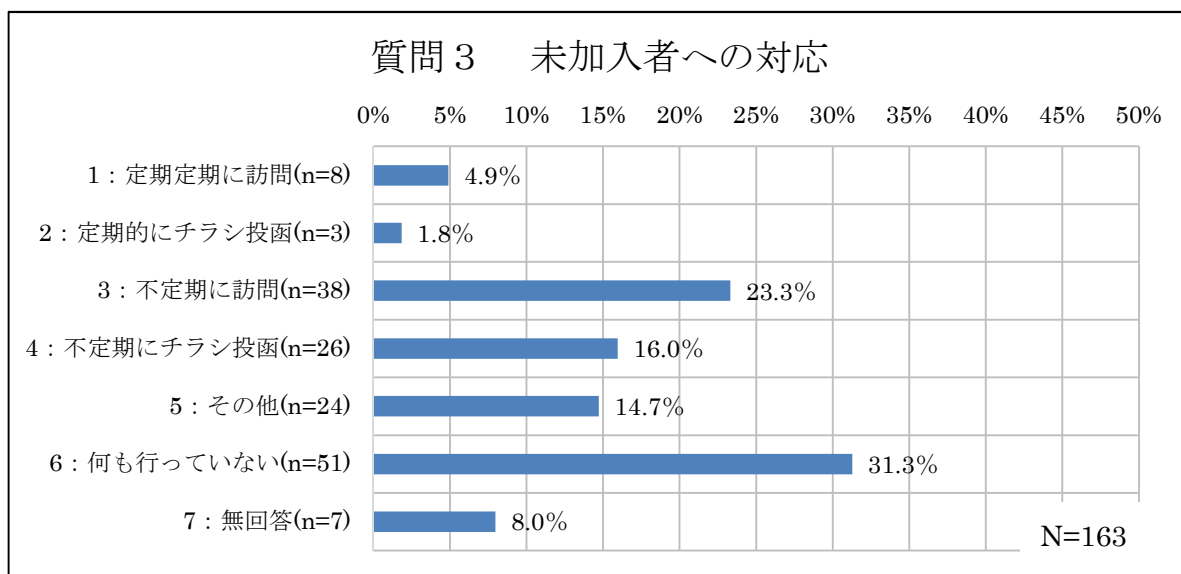


3 未加入者への対応について

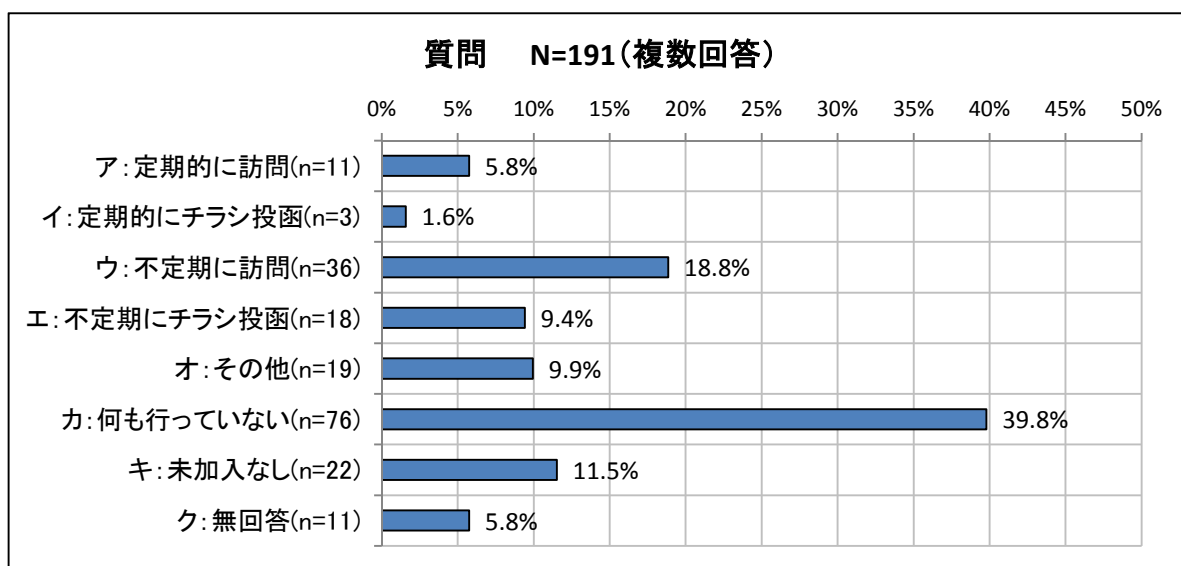
質問内容：従来からの未加入者への対応はどのようにされていますか。

従来からの未加入者への対応については、「何も行っていない」（31.3%）が最も多く、次いで「不定期に訪問」（23.3%）となっている。「その他」（14.7%）としては、「加入促進月間に訪問」、「自治会だよりに掲載」、「転入転出時期に説明」などの回答があった。

なお、前回の平成 25 年調査と比較して「何も行っていない」との回答は 76 自治会から 51 自治会に減少しており、積極的に対応する自治会が増加していることがうかがえる。



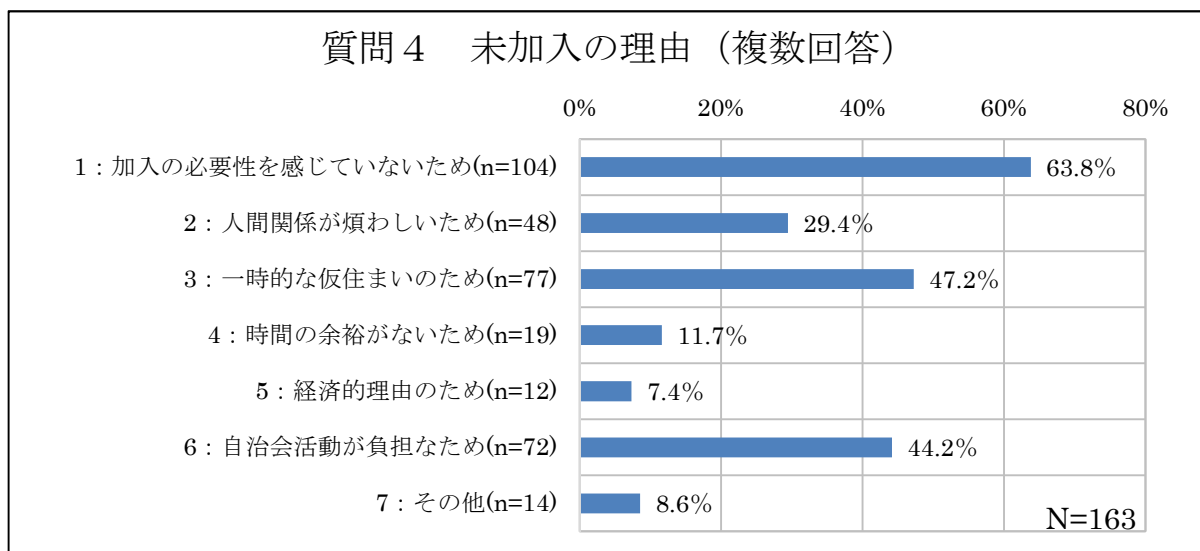
【参考：平成 25 年調査結果】



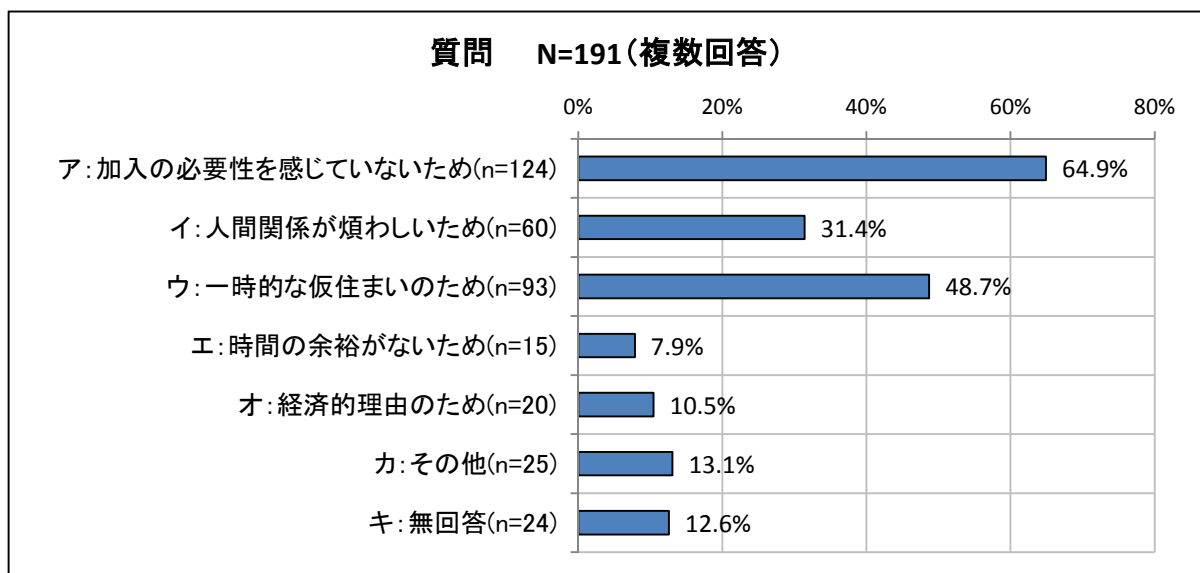
4 未加入の理由について

質問内容：未加入の理由として考えられるものは何ですか。（複数回答可）

未加入の理由については、「加入の必要性を感じていないため」（63.8%）が最も多く、次いで「一時的な仮住まいのため」（47.2%）となっている。今回調査から選択肢として加えた「自治会活動が負担なため」（44.2%）が3番目に多い回答となっている。「その他」（8.6%）としては、「役員が面倒」、「高齢のため」などがあつた。



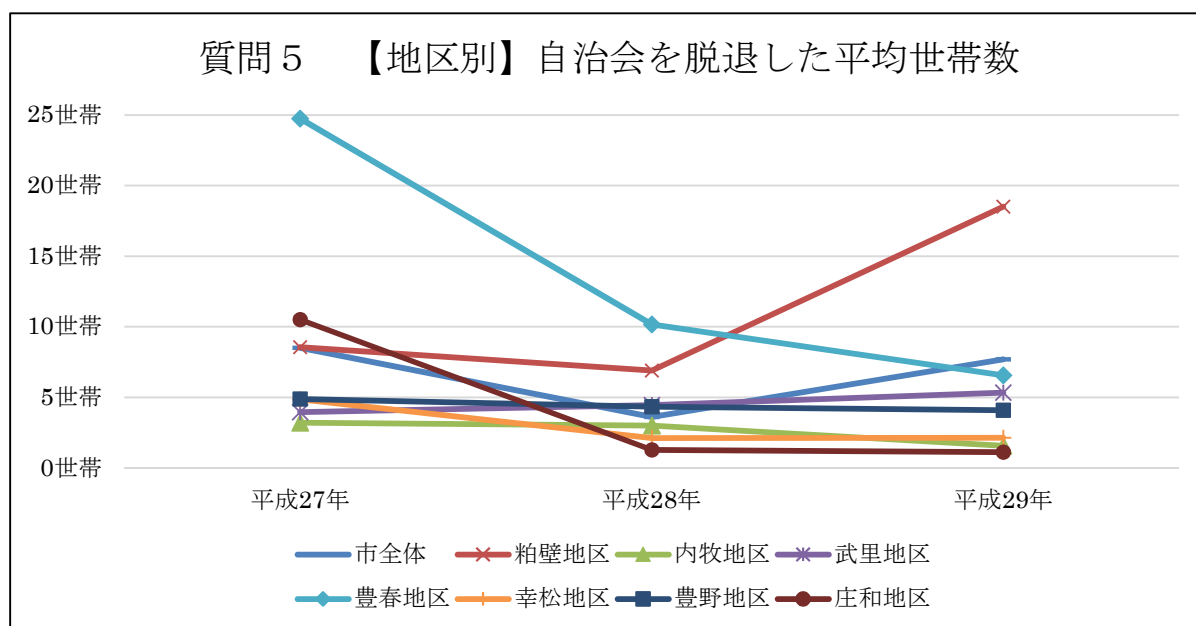
【参考：平成 25 年調査結果】



5 自治会脱退世帯数について

質問内容：自治会を脱退される方は過去3年でどれ位いますか（回答は、答えられる範囲で結構です。）

市全体の平均脱退世帯数は、平成27年が8.5世帯、平成28年が3.6世帯、平成29年が7.7世帯となっている。地区別で見ると、右肩下がり（脱退数が減っている）、右肩上がり（脱退数が増えている）、V字型（増えたり減ったり）などが混在している。



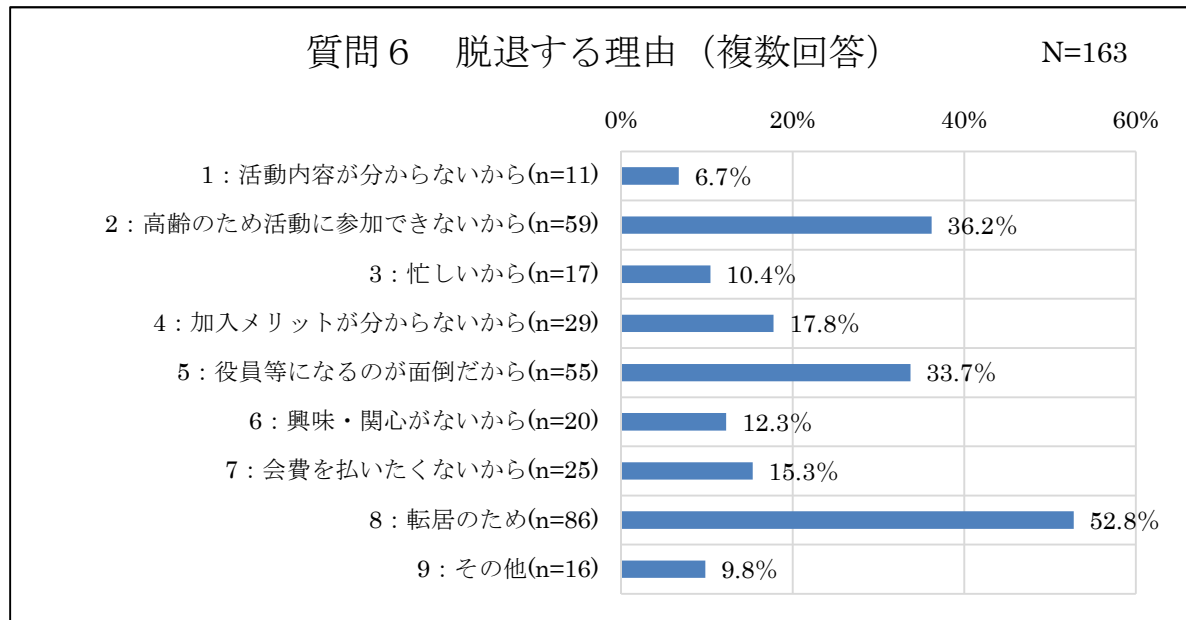
	平成27年	平成28年	平成29年
市全体	8.5	3.6	7.7
粕壁地区	8.6	6.9	18.5
内牧地区	3.2	3.0	1.6
武里地区	4.0	4.5	5.3
豊春地区	24.8	10.2	6.6
幸松地区	4.9	2.1	2.1
豊野地区	4.9	4.3	4.1
庄和地区	10.5	1.3	1.1

(単位：世帯)

6 自治会脱退の理由について

質問内容：脱退される方の理由は何ですか。（複数回答可）

脱退の理由については、「転居のため」(52.8%) が最も多く、次いで「高齢のため活動に参加できないから」(36.2%)、「役員等になるのが面倒だから」(33.7%) となっている。

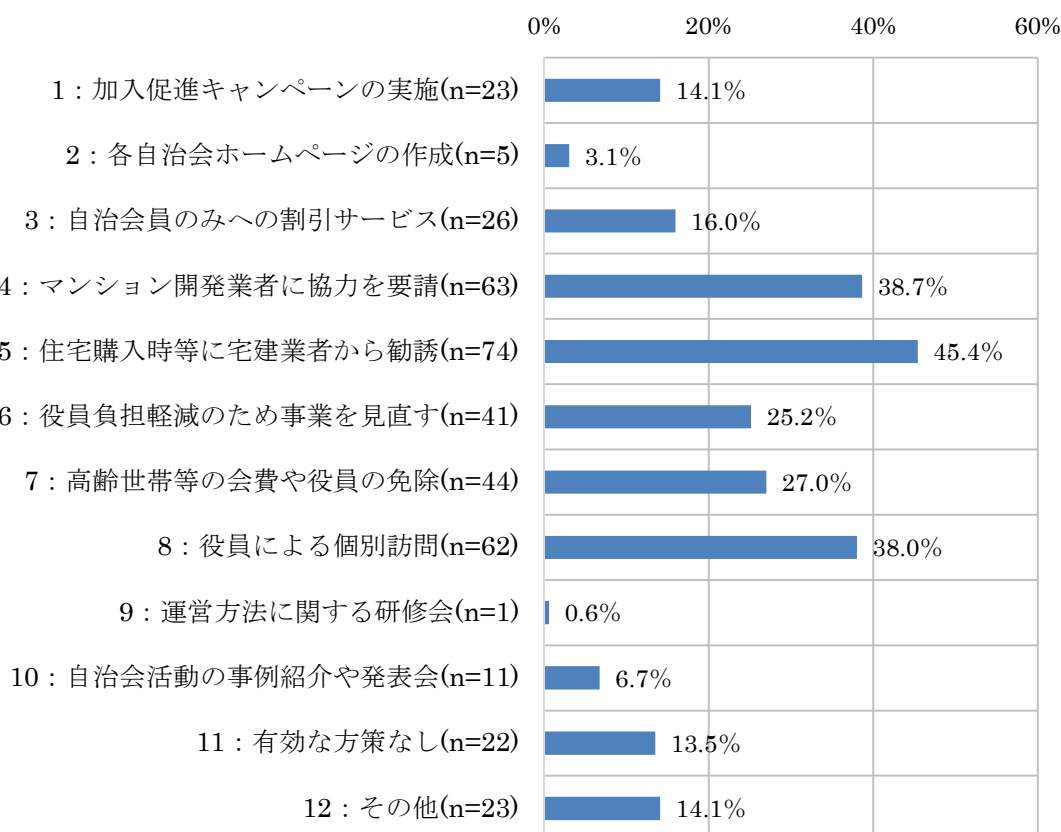


7 自治会加入率向上に向けた方策について

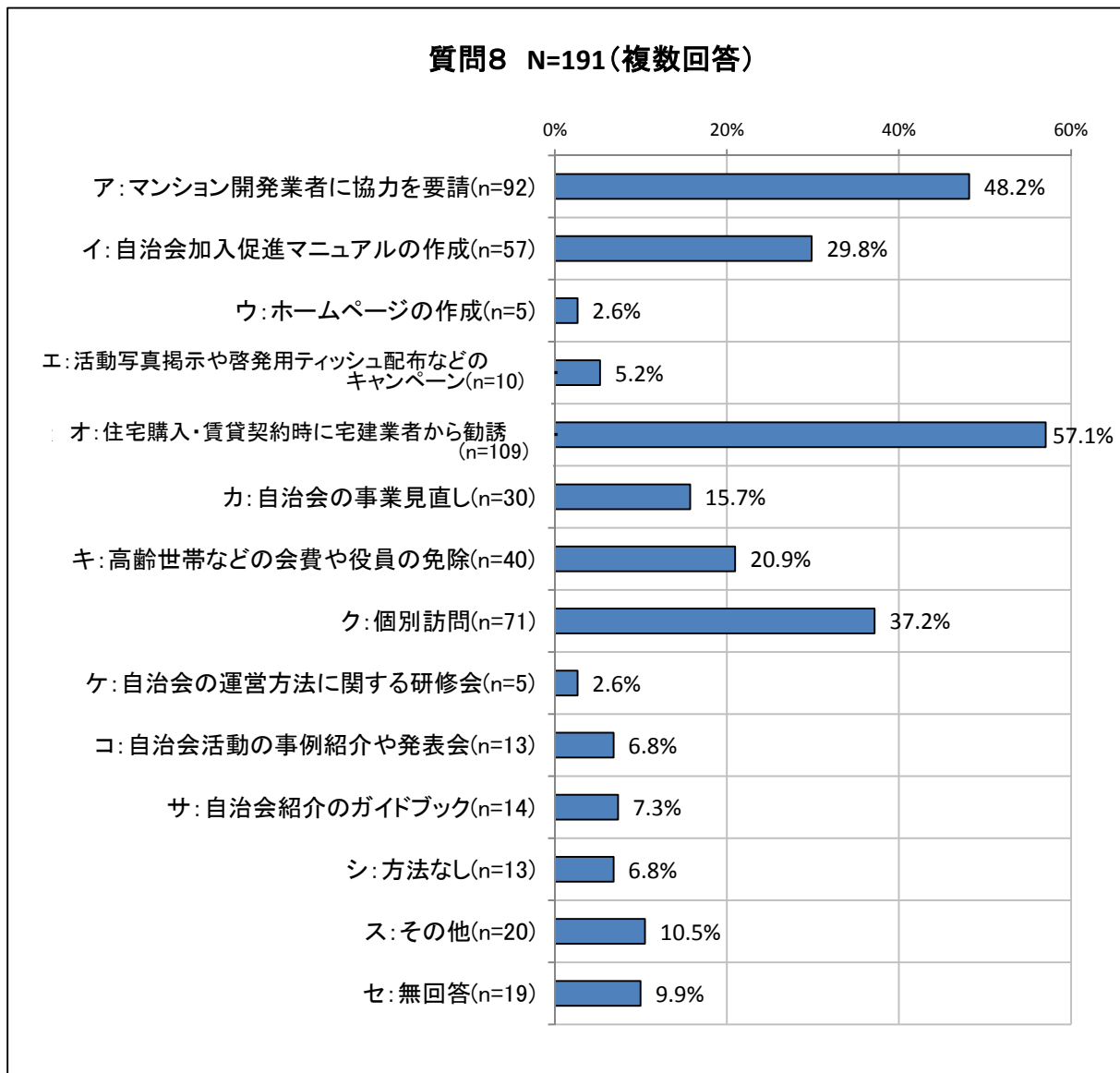
質問内容：未加入者の勧誘や脱退防止など自治会の加入率向上に向けた、有効な方策は何だと思えますか。（複数回答可）

自治会加入率向上に向けた有効な方策については、「住宅購入・賃貸契約時に宅建業者から勧誘」（45.4%）が最も多いが、平成25年度（57.1%）と比較し11.7ポイント減少している。次いで「マンション開発業者に協力を要請」（38.7%）、「役員による個別訪問」（38.0%）などとなっている。平成25年度と比較して大きくポイントが増加したのは「役員負担軽減のため事業を見直す」（25.2%）であり前回の15.7%から9.5ポイント増加している。また、今回調査から選択肢として加えた「自治会員のみへの割引サービス」は16.0%となっている。「その他」（14.1%）としては、「加入メリットのPR」、「地域の声かけ、40～50代の積極参加、世代交代が必要」、「高齢者共働き世帯の役割免除・軽減」、「自治会活動内容の簡素化」、「転入手続き時に加入を勧める」、「自主事業により身近な自治会を目指す」、「子供やお年寄りが参加可能なイベントを計画実施する」などの回答があった。

質問7 加入率向上の方策（複数回答） N=163



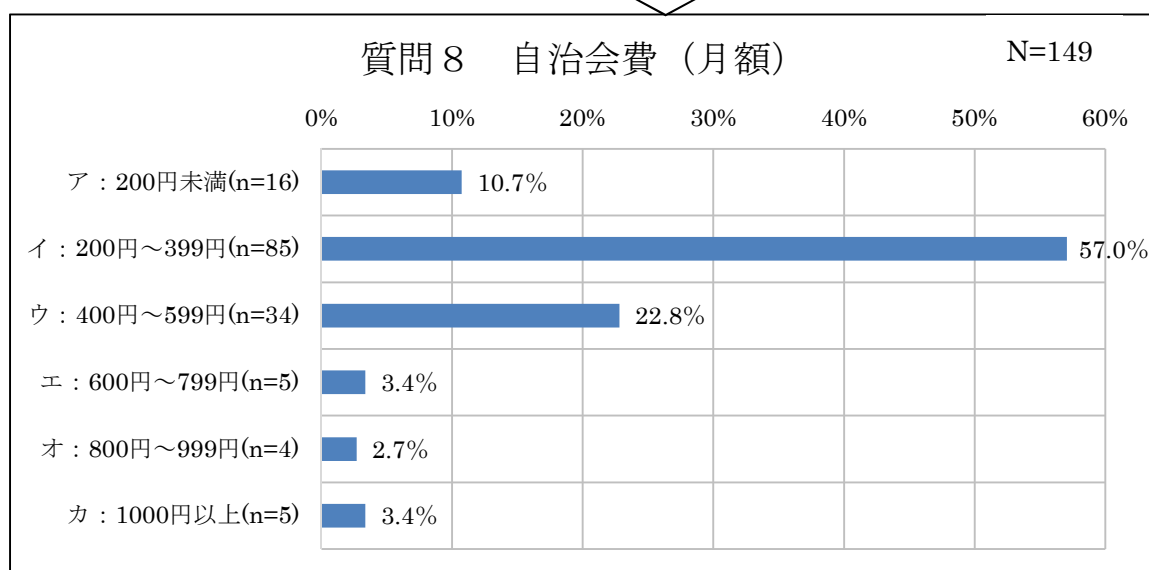
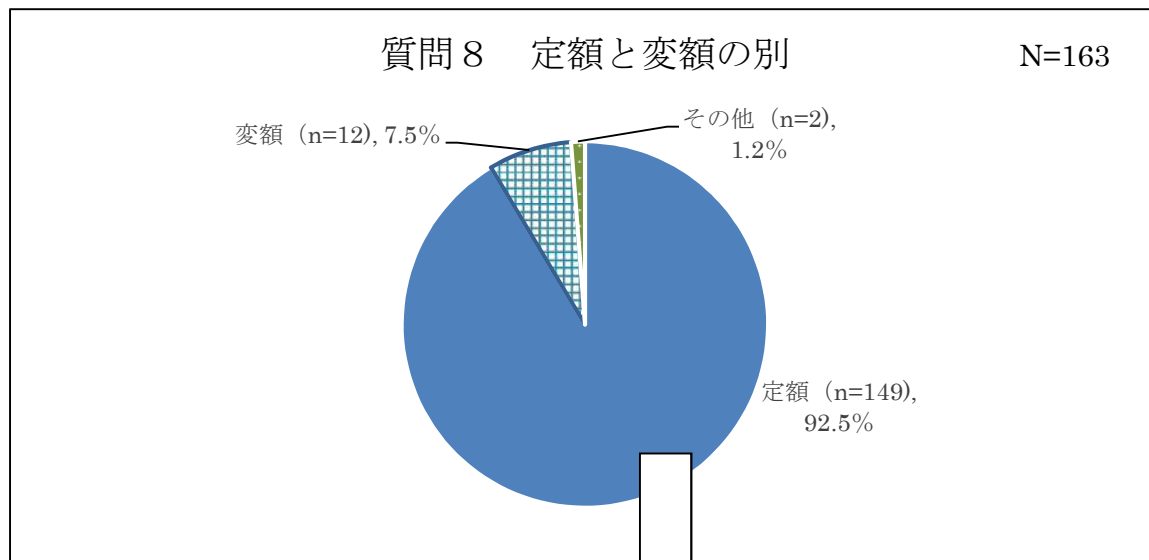
【参考：平成 25 年調査結果】



8 自治会の会費について

質問内容：自治会費の金額を教えてください。（法人等の賛助委員の会費は除く。）

自治会費については、「定額」が 92.5%となっている。金額の内訳としては、「200 円～399 円」（57.0%）が最も多く、次いで「400 円～599 円」（22.8%）となっている。



※自治会費が年額の場合は、月額に換算して集計

<変額>

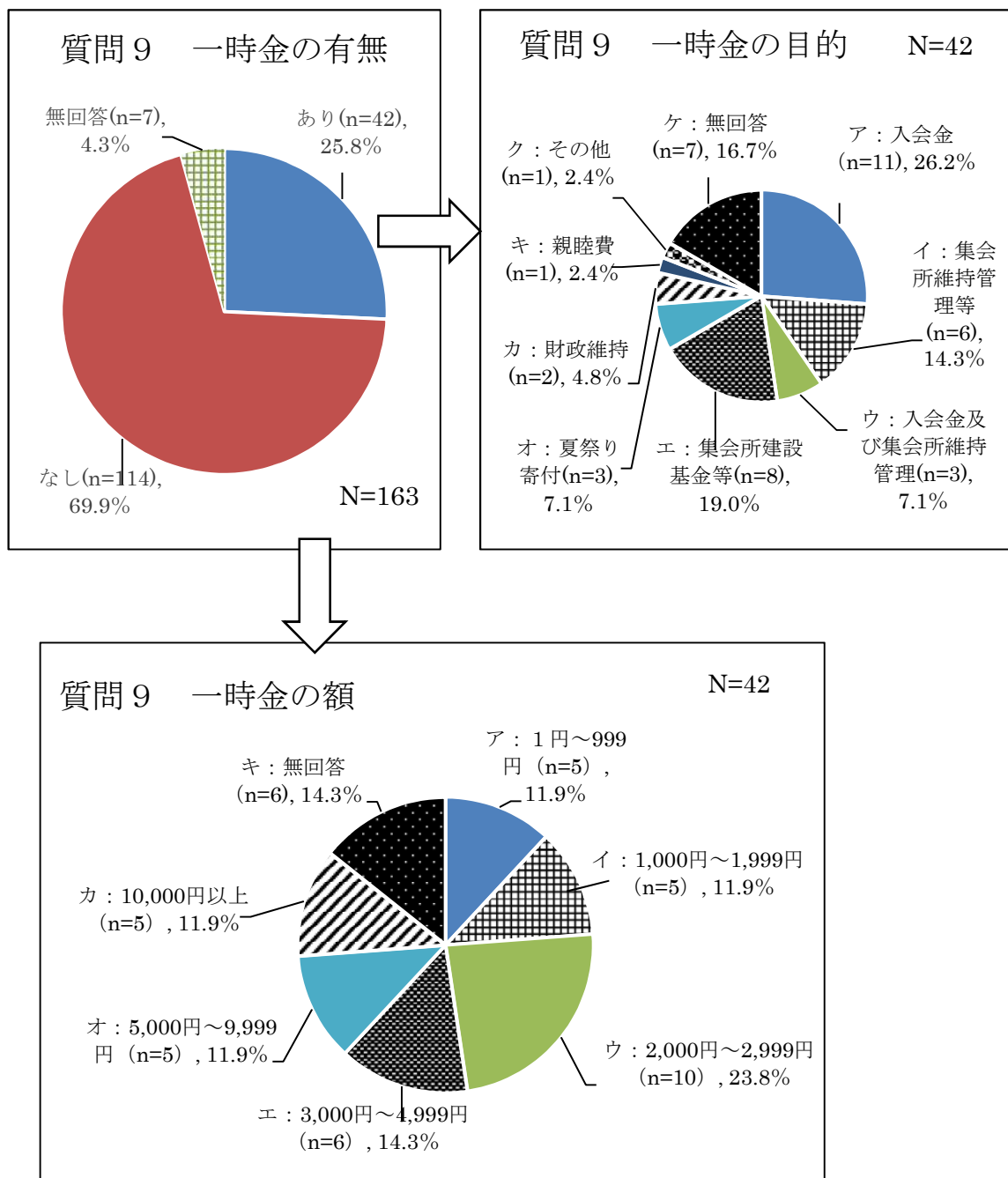
	変額の内容	自治会数
1	農家と非農家で区別	2 自治会
2	所有と賃貸で区別	2 自治会
3	戸建てと集合住宅で区別	6 自治会
4	その他(農地面積割り)	2 自治会

9 一時金の有無について

質問内容：定期的な会費の他に、入会金等の一時金がありますか。ある場合は、その目的と金額を教えてください。

入会金等の一時金については、「あり」が25.8%、「なし」が69.9%となっている。一時金を徴収している自治会のうち、一時金の目的としては、「入会金」が26.2%で最も多く、次いで「集会所建設基金等」が19.0%となっている。

また、一時金の額は「2,000円～2,999円」が23.8%で最も多く、次いで「3,000円～4,999円」が14.3%となっている。

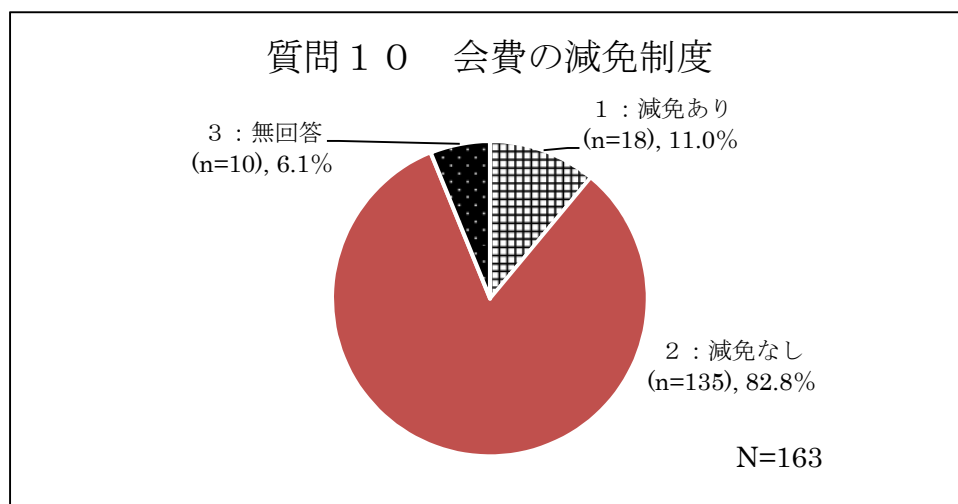


10 会費の減免制度について

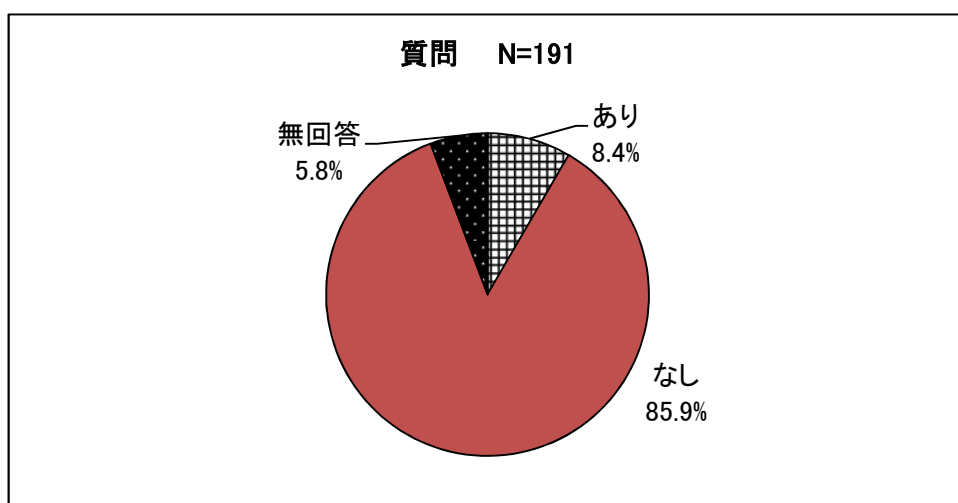
質問内容：会費の減免制度はありますか。ある場合は、具体的に教えてください。

会費の減免制度については、「あり」が11.0%、「なし」が82.8%となっている。

減免の具体的な内容としては、「生活保護世帯は申請により免除」、「母子家庭、高齢世帯は免除」、「母子家庭や70歳以上独居は免除、60歳～69歳の独居は半額」、「災害事故など特別事情は免除」、「特別な事情がある場合は、班長会の承認を経て減免」などの回答があった。



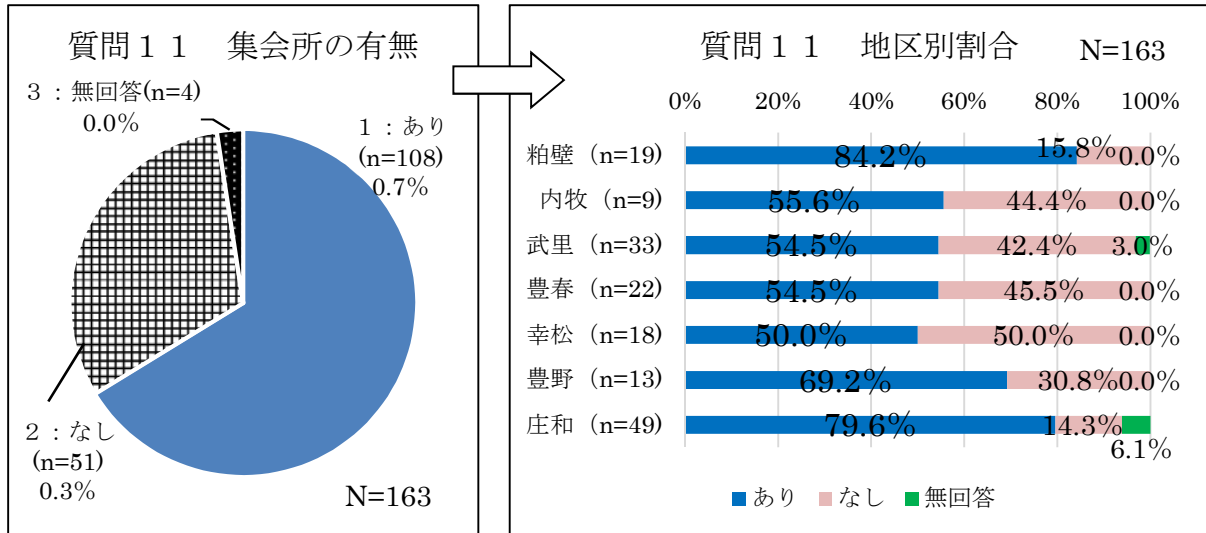
【参考：平成 25 年調査結果】



11 集会所の有無について

質問内容：集会所がありますか。

集会所の有無については、「あり」が66.3%、「なし」が31.3%となっている。「あり」を地区別でみると、粕壁地区が最も多く、次いで庄和地区、豊野地区などとなっている。

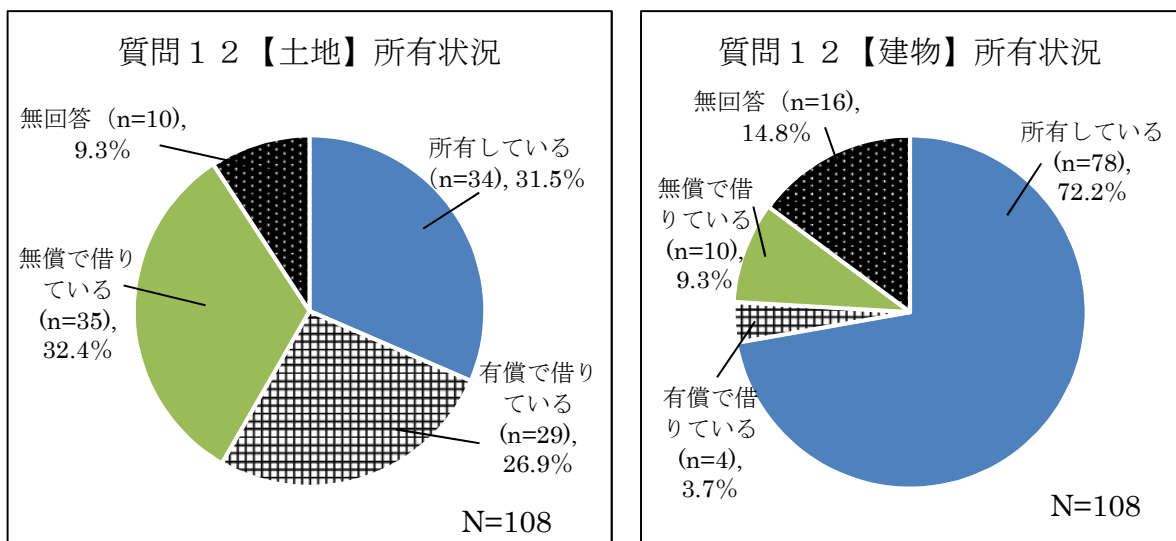


12 集会所の所有状況について

質問内容：集会所がある場合、その所有状況を教えてください。

集会所がある場合の土地の所有状況については、「無償で借りている」(32.4%)が最も多く、次いで「所有している」(31.5%)、「有償で借りている」(26.9%)となっている。

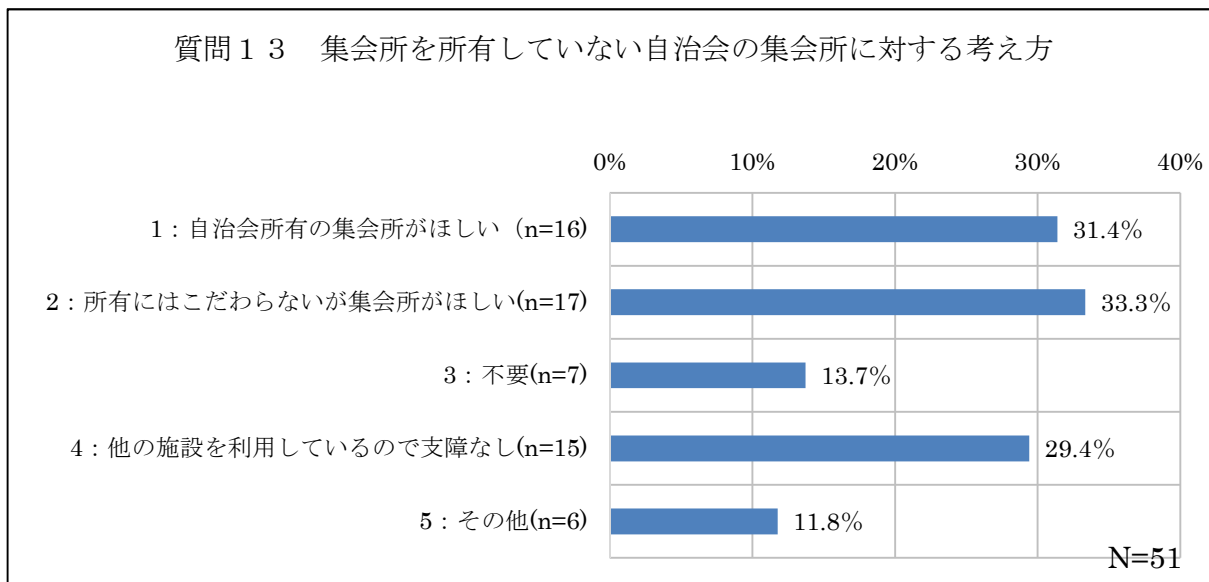
建物の所有状況については、「所有している」(72.2%)が最も多く、次いで「無償で借りている」(9.3%)、「有償で借りている」(3.7%)となっている。



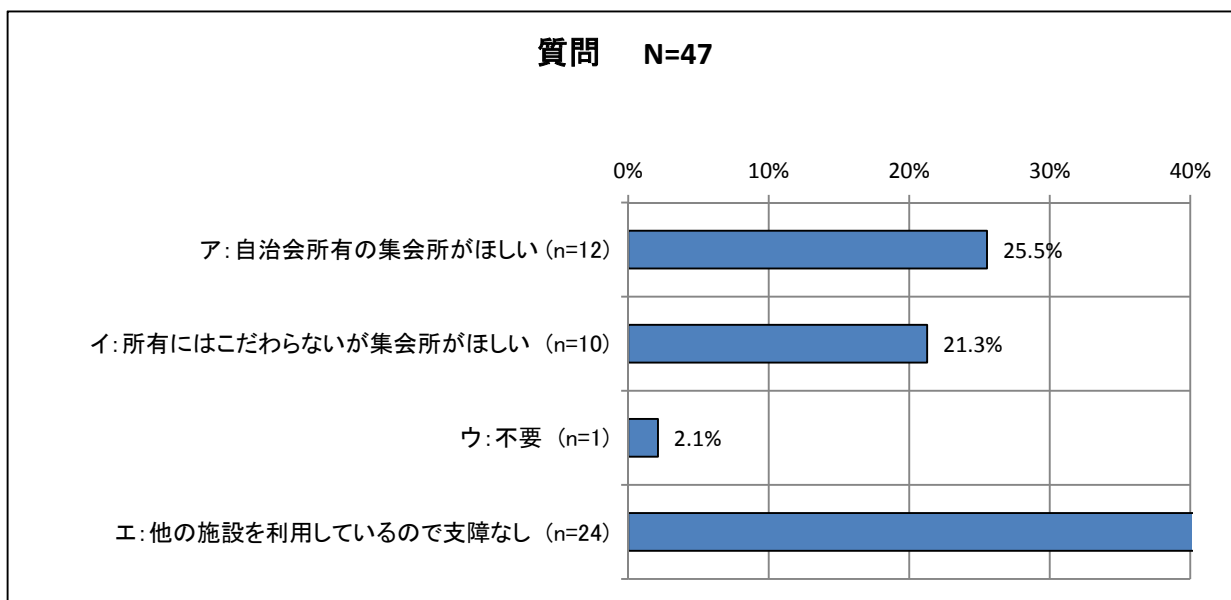
13 集会所に対する要望について

質問内容：集会所がない場合、集会所に対してどのように考えていますか。

集会所に対する要望（集会所がない場合）については、「所有にはこだわらないが集会所がほしい」（33.3%）が最も多く、次いで「自治会所有の集会所がほしい」（31.4%）、「他の施設を利用しているので支障なし」（29.4%）などとなっている。



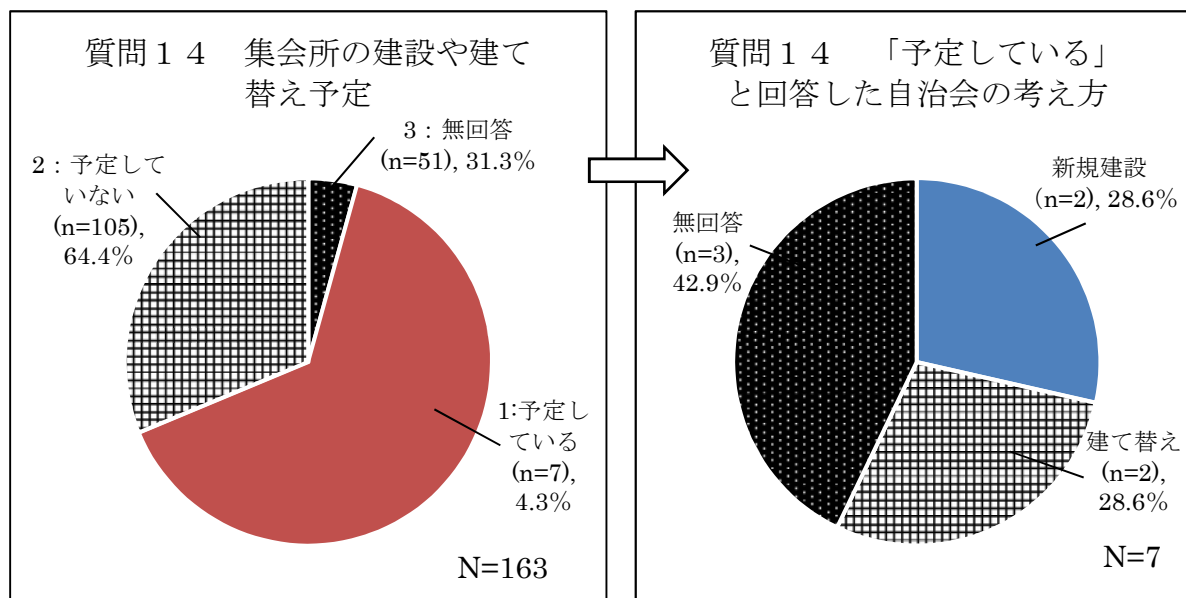
【参考：平成 25 年調査結果】



14 集会所の新規建設や既存集会所の建て替えについて

質問内容：新規に集会所の建設や既存集会所の建て替えを検討していますか。

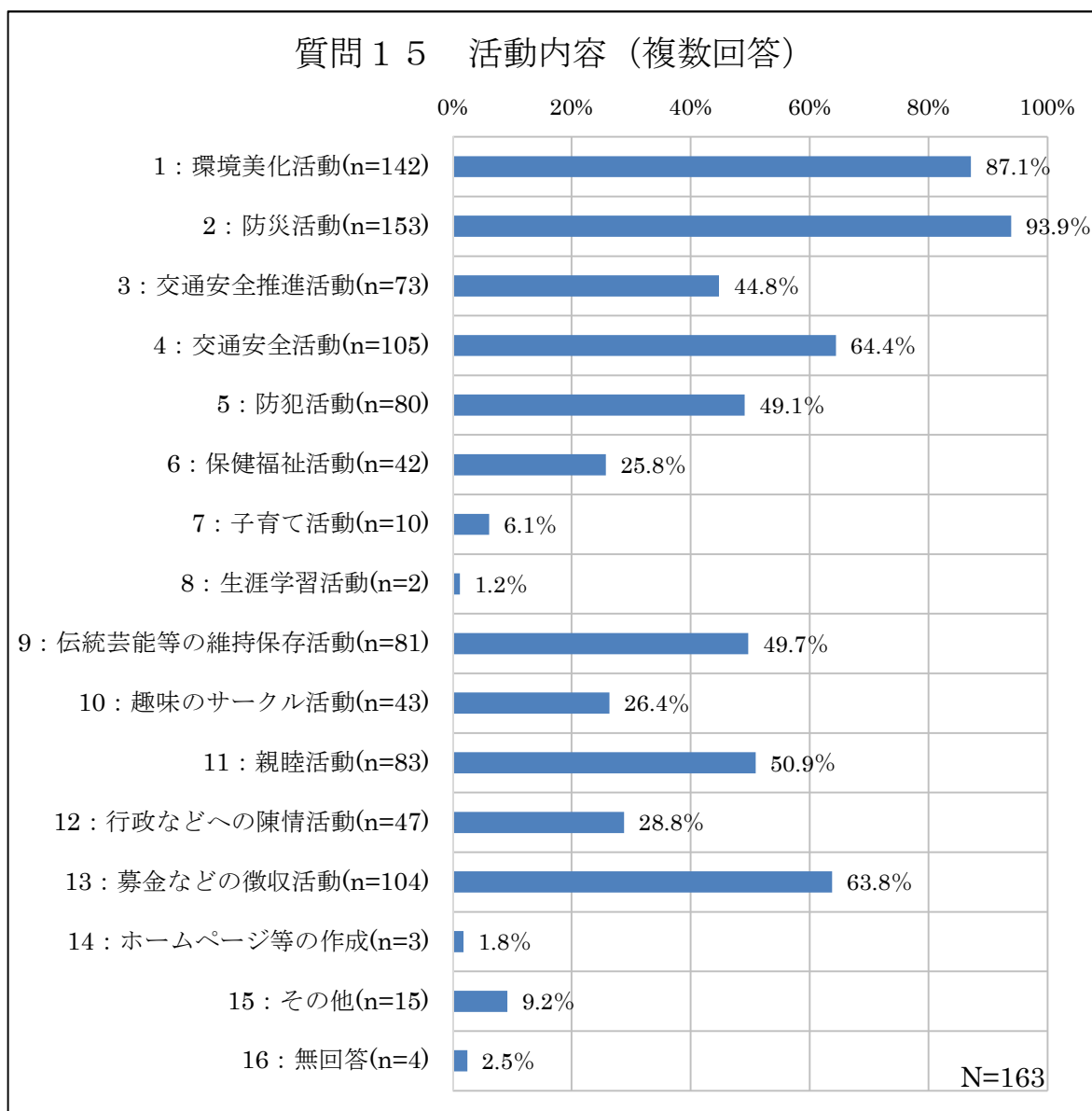
集会所の新規建設や建て替えについては、「予定している」が4.3%、「予定していない」が64.4%だった。「予定している」と回答した7自治会のうち、「新規建設」と「建て替え」が28.6%と同ポイントだった。



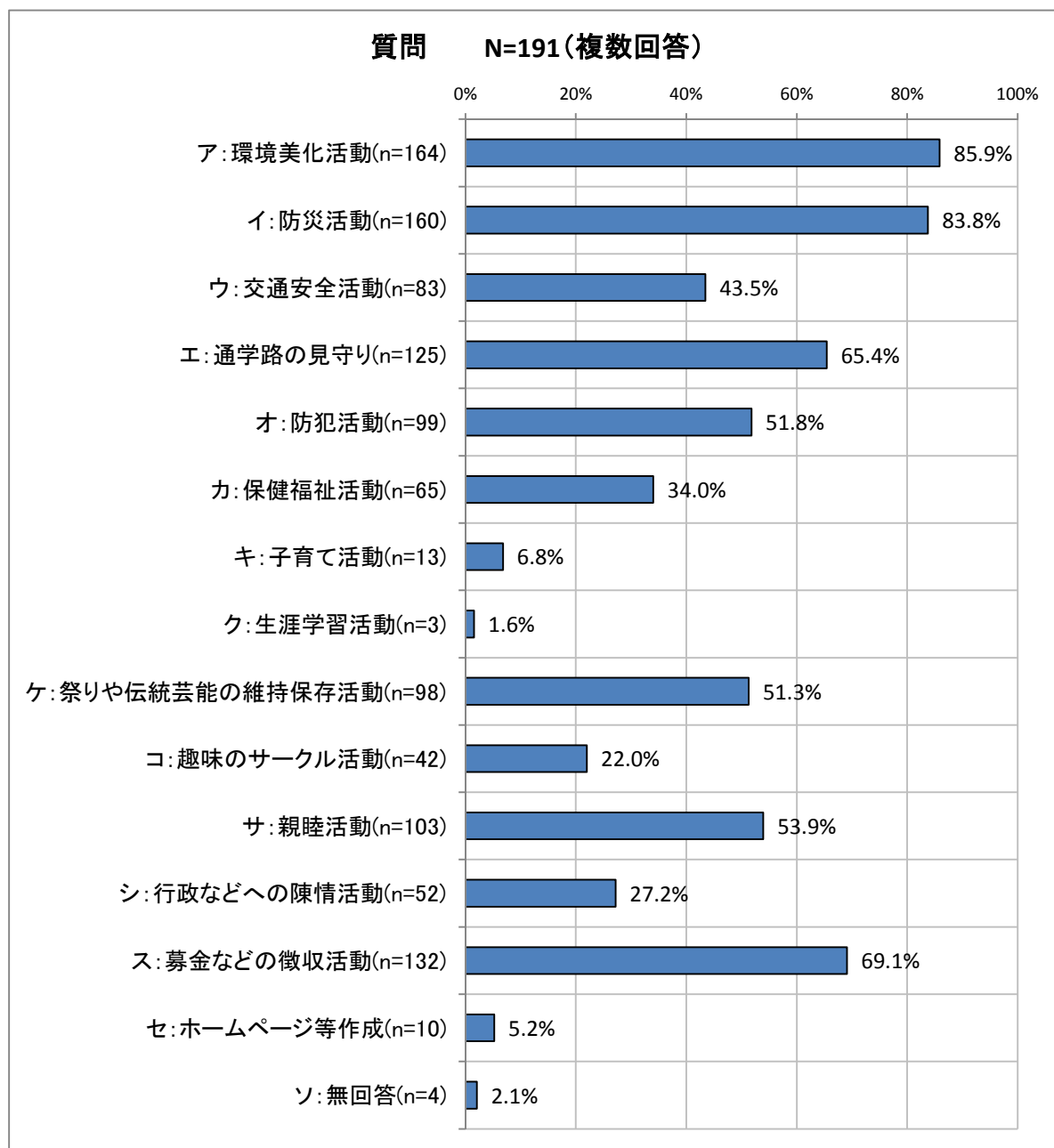
15 現在行っている自治会活動について

質問内容：現在行っている活動を教えてください。（複数回答可）

現在行っている自治会活動については、「防災活動」（93.9%）が最も多く、次いで「環境美化活動」（87.1%）、「交通安全活動」（64.4%）などとなっている。平成25年度調査では、「環境美化活動」（85.9%）が最も多く、次いで「防災活動」（83.8%）、「募金などの徴収活動」（69.1%）であった。今回の調査では防災活動が環境美化活動を上回り、防災意識の高まりがうかがえる。「その他」（9.2%）では、「任意団体への一部活動助成」、「自治会ニュースの発行」などがあつた。



【参考：平成 25 年調査結果】



16 特徴的な事業について

質問内容：自治会活動のうち特徴的な事業があれば教えてください。

《回答抜粋（原文のまま掲載）》

- ・防災マニュアルの発行(一時)避難先の確保)
- ・ふれあいの集い(75歳以上対象)
- ・秋まつりと小中学校とのコラボ
- ・近隣4自治会による防災連絡協議会を立ち上げ公民館と協議して活動
- ・公園の草取り・清掃、河岸の草取り・花壇管理、押絵羽子板の作成の指導(近隣の小学校)
- ・茶話会・心と体の健康道場
- ・やったり踊り
- ・フェスタを毎年開催している
- ・各月行っているいきいきサロンの拡大版を体育の日に実施(70歳以上)
- ・サツマイモ栽培体験教室(5月植付け・10月収穫)
- ・小学生対象寺子屋を夏休み3日間実施
- ・健康ウォーキング
- ・夏休みお楽しみ会(子供会共催) 三世代交流いも煮会
- ・コミュニティ親睦会 餅つき大会、子供の昔遊び
- ・床下消毒
- ・グラウンドゴルフ大会 輪投げ大会 友愛訪問活動
- ・地域内の環境整備(緑地公園遊水池下水道等)の基盤づくりの為、行政とのタイアップに力を注いでいる。
- ・大学サークル・庄和図書館との共同活動、震度7クラスの一時的避難訓練・要援護者救出訓練、集会所が元公民館だったので他の自治会組合との親睦イベントあり
- ・ふれあいもちつき大会・健康体操
- ・年1度加入者対象に「ふれあい広場」を開催
- ・そうめん流し 芋煮会
- ・高齢者の定期的会合

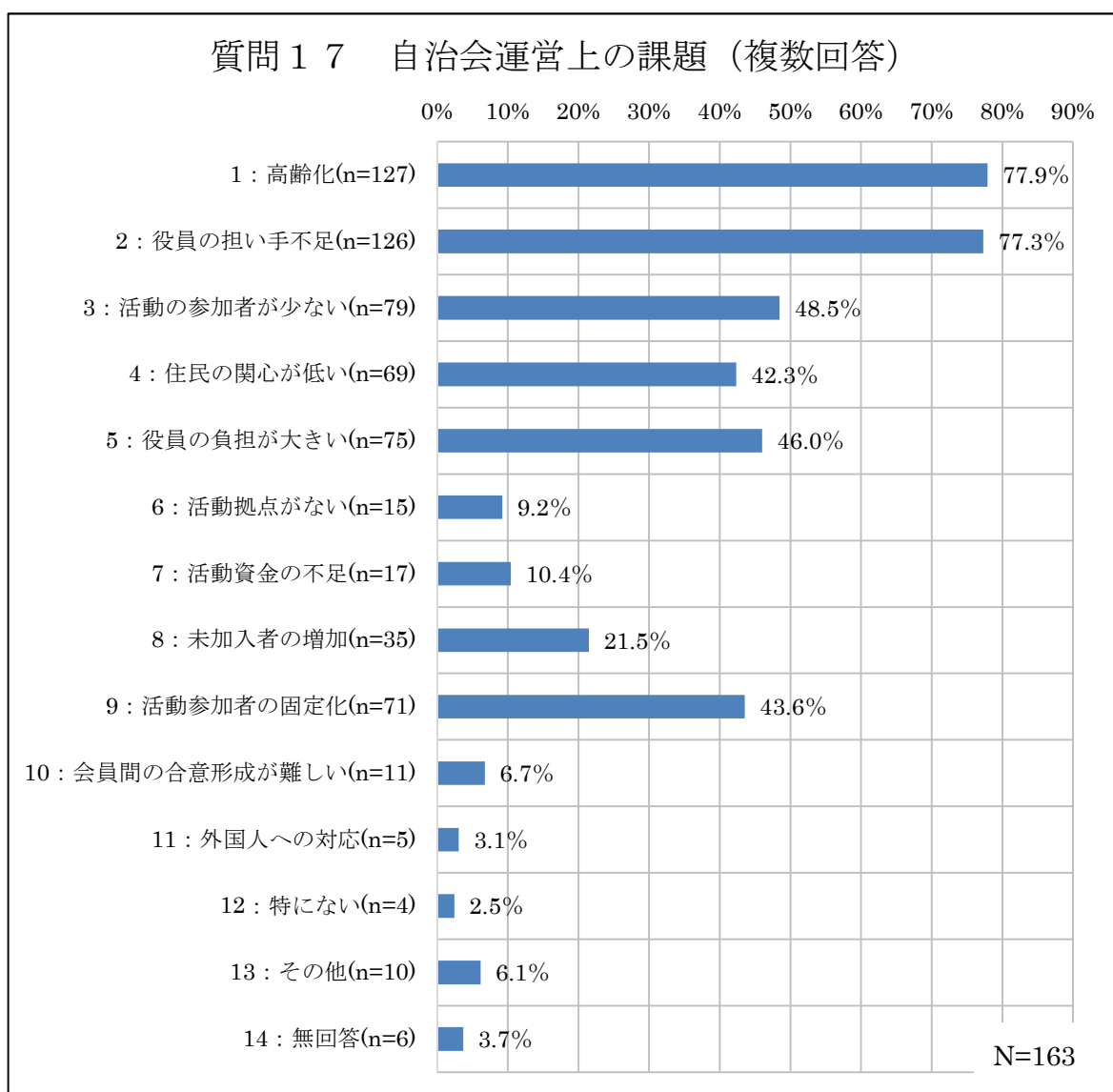
17 自治会運営上の課題について

質問内容：自治会運営上の課題について、どう感じていますか。(複数回答可)

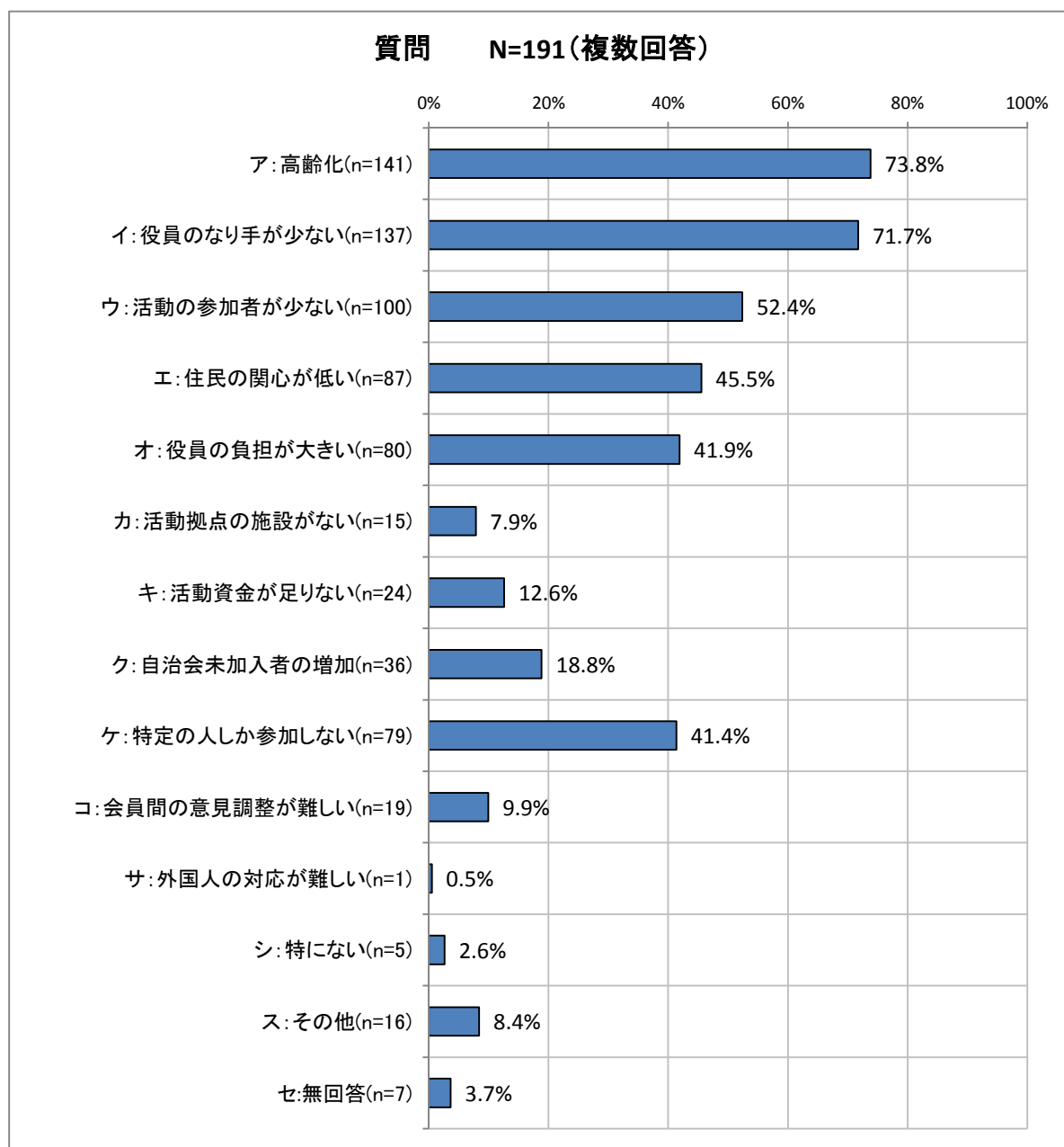
自治会運営上の課題については、「高齢化」(77.9%)が最も多く、次いで「役員の担い手不足」(77.3%)、「活動の参加者が少ない」(48.5%)などとなっている。平成25年度調査においても、上位3つの順位は同じであり、「高齢化」が73.8%、「役員の担い手不足」が71.7%、「活動の参加者が少ない」が52.4%だった。

また、4位の「役員の負担が大きい」(46.0%)は、平成25年度調査では5位であったが、4.1ポイント増加している。

「その他」(6.1%)としては、「若年層が自治会活動に参加しない」、「自治会費総額に対して募金等の出費比率が大きい」などの回答があった。



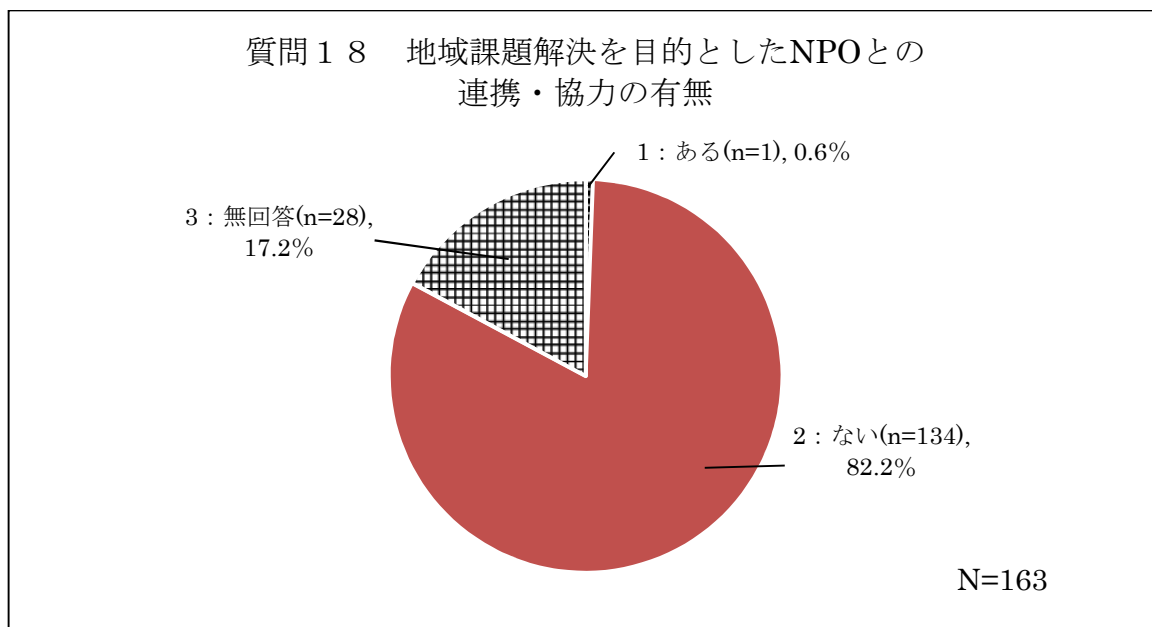
【参考：平成 25 年調査結果】



18 NPO との連携・協力事例の有無について

質問内容：各地域や自治会で抱える課題の解決に向けて NPO と連携・協力した事例はありますか。また、それは具体的にどのようなことですか。

NPO との連携・協力事例については、「ある」が 0.6%、「ない」が 82.2%であった。「ある」と回答した 1 自治会では、「芝浦工大三浦教授グループと住環境プロジェクト（H27～H28）」とのことだった。

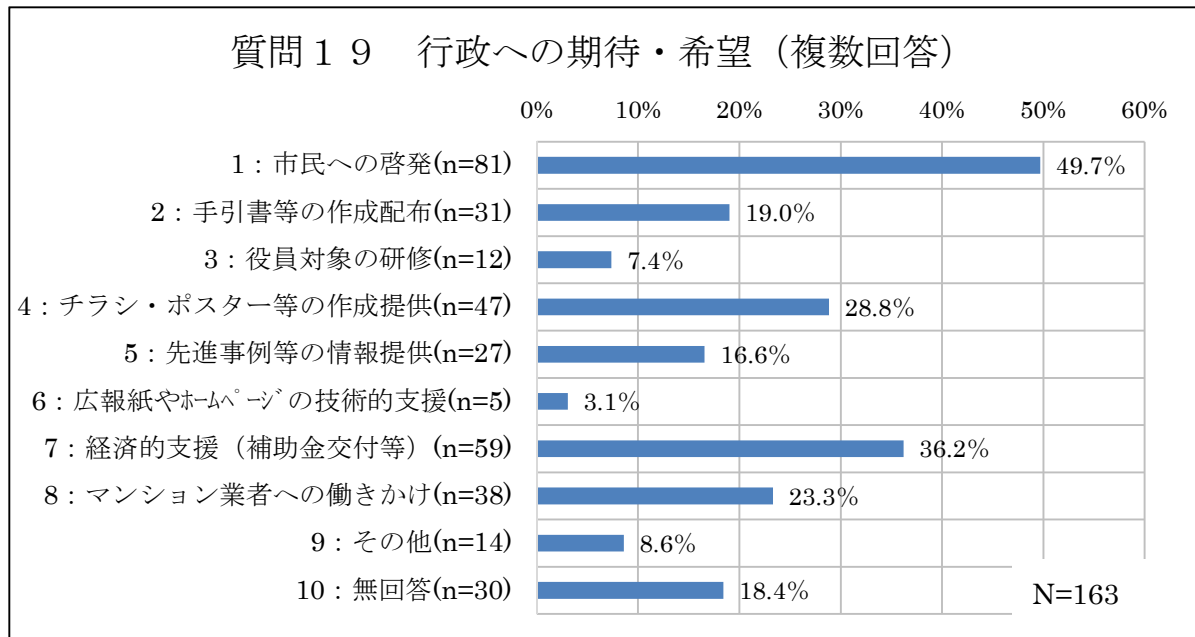


19 行政への期待・希望について

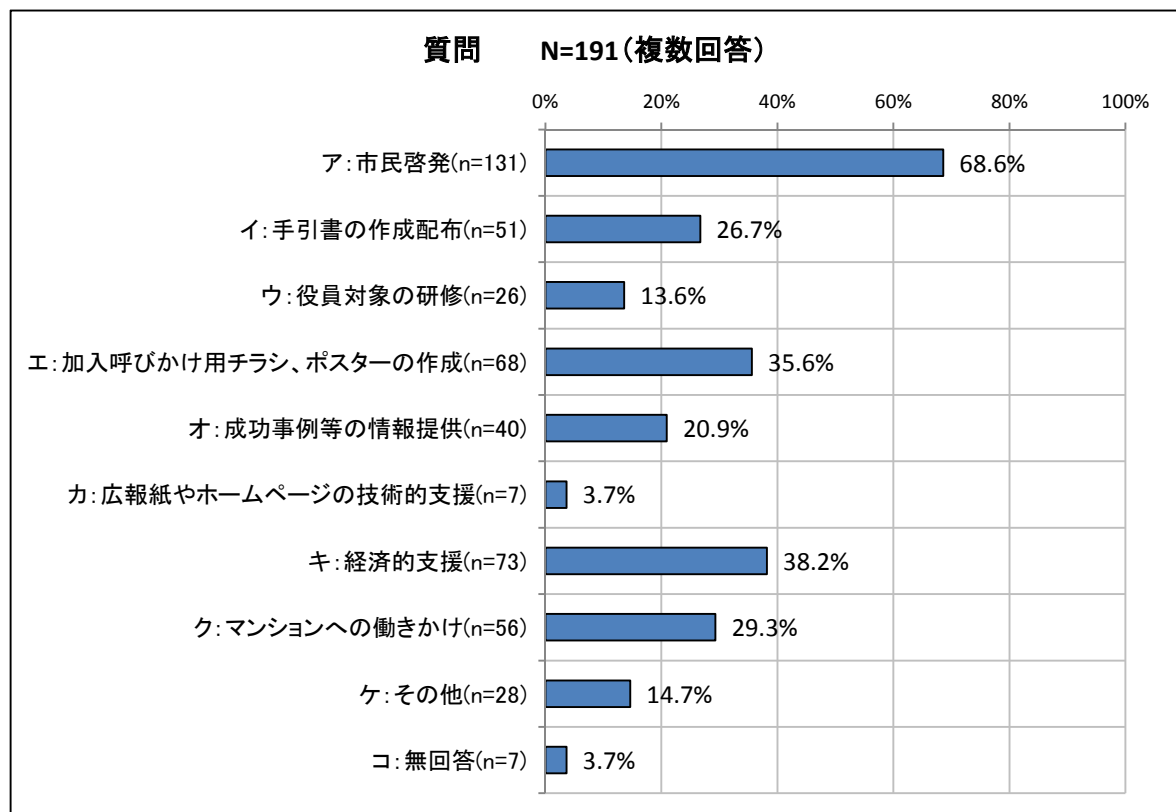
質問内容：今後の自治会活動を行う上で、行政に期待・希望することがありますか。（複数回答可）

行政への期待・希望については、「市民啓発」（49.7%）が最も多く、次いで「経済的支援」（36.2%）、「チラシ、ポスターの作成」（28.8%）などとなっている。

「その他」（8.6%）としては、「賃貸居住者への働きかけ」、「業務委託料増額」などの回答があった。



【参考：平成 25 年調査結果】



Ⅲ 調査結果の分析

1 自治会への加入について（質問 1～7）

- ・ 自治会内の全戸数及び自治会に加入している戸数については、【戸建て】【集合住宅】ともに自治会内の全戸数を無回答としている自治会が多く、自治会内の正確な戸数の把握が難しい実情がうかがえる。
- ・ 転入者への対応については、上位 2 つの順位が平成 25 年調査と同じである。しかし、1 位の「個別に訪問」は 16.3 ポイント増加し、「転入者からの挨拶時に勧める」は 8.2 ポイント減少しており、自治会側から積極的に加入促進活動を実施していることがうかがえる。
- ・ 未加入者への対応については、上位 2 つの順位が平成 25 年調査と同じである。しかし、1 位の「何も行っていない」は 8.5 ポイント減少し、2 位の「不定期に訪問」は 4.5 ポイント増加、さらに今回 3 位の「不定期にチラシ投函」も 6.6 ポイント増加しており、未加入者に対する積極的な加入促進活動が広がっていることがうかがえる。
- ・ 未加入の理由については、上位 2 つの順位が平成 25 年調査と同じである。今回調査から選択肢として加えた「自治会活動が負担なため」(44.2%) が 3 番目に多い回答となっている。未加入者自身の都合による理由 {「時間の余裕がないため」(11.7%)、「経済的理由のため」(7.4%)} より、自治会に対するマイナスイメージによる理由 {「自治会活動が負担なため」(44.2%)、「人間関係が煩わしいため」(29.4%)} が多い傾向にある。
- ・ 自治会脱退世帯数については、市全体の平均として平成 27 年が 8.5 世帯、平成 28 年が 3.6 世帯、平成 29 年が 7.7 世帯で V 字型ラインを描いており、10 世帯未満という少ない範囲で推移している。
- ・ 自治会脱退の理由について、1 位の「転居のため」(52.8%)、7 位の「忙しいから」(10.4%)は対策の講じようがない理由だが、そのほかの選択肢である高齢者への対応や役員の負担、加入メリットの創出と PR については、対策の検討が必要である。
- ・ 自治会加入率向上に向けた方策については、上位 3 つの順位が平成 25 年調査と同じである。4 位は平成 25 年調査では「自治会加入マニュアルの作成」(29.8%)だったが、今回は「高齢世帯等の会費や役員の免除」(27.0%)となっている。
前回同様、「住宅購入・賃貸契約時に宅建業者から勧誘」、「マンション開発業者に協力を要請」と回答した自治会が多く、集合住宅などについて早い段階で自治会加入に向けた対応をすることが、加入率向上に有効な方策であるという意見が多いことがうかがえる。

また、その他の意見では加入メリットの PR や 40～50 代などの参加、世代交代の意見も挙がっている。

2 自治会の会費について（質問 8～10）

- ・ 自治会の会費については、定額制が 92.5%（前回比 6.1 ポイント増）、変額制が 7.5%（前回比 1.9 ポイント減）となっている。月額については、200 円～399 円としている自治会が 57.0%と過半数を超えている。順位やパーセンテージも平成 25 年調査とほぼ同様であり、ほとんどの自治会で会費は変動していないものと思われる。
- ・ 入会金等の一時金については、約 7 割の自治会が「なし」と回答しており、多くの自治会が、限られた予算の中で自治会の運営や活動を行っているものと推測される。一時金を徴収している自治会では、目的は「入会金」（26.2%）が 1 位となっている。2 位は、平成 25 年調査では「集会所維持管理等費用」（29.4%）だったが、今回は「集会所建設基金等」（19.0%）であった。
- ・ 会費の減免制度については、8 割を超える自治会は、減免制度を設けていない。一方、減免制度を設けている自治会では、生活保護世帯・高齢世帯・母子世帯などに対し減免制度を適用している回答が見受けられた。

3 自治会の集会所について（質問 11～14）

- ・ 集会所の有無については、「あり」が 66.3%、「なし」が 31.3%となっている。平成 25 年調査では「あり」が 74.9%、「なし」が 24.6%となっていた。全体回答数が前回 191 であったが、今回は 163 となったことによるものである。
- ・ 集会所用地については、自己所有が 31.5%、有償借地が 26.9%、無償借地が 32.4%とほぼ三分されている。一方、建物については、自己所有が 72.2%となっている。
- ・ 集会所がないと回答した 51 自治会の集会所に対する考え方は、1 位が 33.3%で「所有にはこだわらないが集会所がほしい」（前回 3 位、21.3%）、2 位が 31.4%で「自治会所有の集会所がほしい」（前回 2 位、25.5%）、3 位が 29.4%で「他の施設を利用しているので支障なし」（前回 1 位、51.1%）であった。集会所のない自治会では、所有意向が高まっていることがうかがえる。
- ・ 集会所の新規建設や既存集会所の建て替えについては、「予定している」が 7 自治会（4.3%）、「予定していない」が 105 自治会（64.4%）となっている。「予定している」と回答した 7 自治会のうち、「新規建設」を予定しているのが 2 自治会、「建て替え」を予定しているのが 2 自治会であった。

4 自治会活動について（質問 15～16）

- ・ 最も多かった活動は「防災活動」（93.9%）である。前回調査では 2 位であったが、10.1 ポイント増加し 1 位となっており、地域の防災意識の高まりがうかがえる。 2 位は「環境美化活動」（87.1%）であった。3 位は「交通安全活動」（64.4%）で、前回調査の 8 位から 20.9%増加している。

また、特徴的な取り組みとして、近隣自治会と連携した事業の開催をはじめ、小学校や大学からの協力を得ていることもうかがえる。

5 自治会の課題について（質問 17～18）

- ・自治会運営上の課題については、上位3つの順位が平成25年調査と同じである。
「高齢化」、「役員の担い手不足」、「活動の参加者が少ない」といった課題は全国的に言われている課題である。
- ・NPOとの連携・協力事例については、「ある」が1自治会のみのものであり、テーマ型コミュニティとの連携は進んでいないことが分かった。

6 市からの支援について（質問 19）

- ・自治会活動を行う上で、行政へ期待・希望することについては、上位5つの順位が平成25年調査と同じであるが、いずれもポイントが減少している。

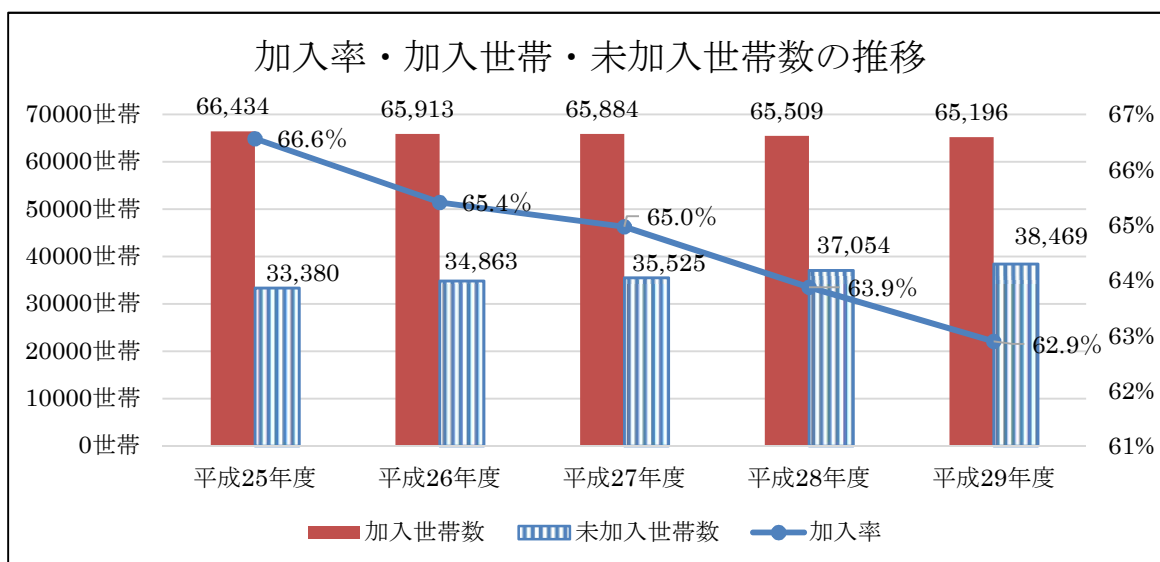
IV まとめ

「自治会加入状況等に関する調査」の結果を基に、課題や今後検討を要する点を整理する。

はじめに春日部市の現状について触れる。

下のグラフは平成25年度から平成29年度までの自治会加入率・自治会加入世帯数・自治会未加入世帯数の推移を表したグラフである。自治会加入率は毎年減少傾向にあり、前回調査を実施した平成25年度の66.6%から平成29年度は62.9%に減少している。自治会加入世帯数を見ると平成25年度の66,434世帯から平成29年度までで1,238世帯しか減少していない。

一方、未加入世帯数は平成25年度の33,380世帯から平成29年度までで5,089世帯も増加している。自治会加入率の減少は、加入世帯数の減少よりも未加入者の急激な増加に影響を受けていると言える。



よって未加入世帯への対応は重要である。

今回のアンケート調査では転入者や未加入世帯に対する自治会側からの積極的な加入促進活動が以前よりも広まっていることが分かった。今後においても未加入世帯への加入促進活動が一層必要である。

質問4の未加入の理由として考えられるものについての質問では、「加入の必要性を感じていないため」が63.8%と最も多い回答となっている。これについては、自治会加入のメリット、逆に自治会に加入しない場合のデメリットを未加入者にしっかりと伝えていく必要がある。場合によっては、メリットを新たに創出するというアイデアも今後は必要であると考えられる。

質問7の自治会加入率向上に向けた方策についての質問では、「住宅購入時等に宅建業者から勧誘」(45.4%)、「マンション開発業者に協力を要請」(38.7%)が上位の回答であり、転入から早い時期での自治会加入が望まれているため、宅建業協会との連携強化や開発業者との協力を図っていく必要がある。

また、今回の調査で浮き彫りになったのが、高齢化の問題である。

質問6の自治会を脱退する理由についての質問で、1位の「転居のため」(52.8%)に次いで多かったのが「高齢のため活動に参加できないから」(36.2%)であった。

一方、質問17の自治会運営上の課題についての質問で、最も多かったのも「高齢化」(77.9%)という回答である。

要するに自治会員側としても、自治会運営側としても高齢化が大きく影響を及ぼしている状況である。

この問題については、質問7の自治会加入率向上に向けた方策についての質問で、「高齢世帯等の会費や役員の免除」(27.0%)が4番目に多い回答を得ているが、実際に高齢世帯等の会費減免を実施している自治会はごく少数である(質問10参照)。

今後、さらに高齢化が深刻化するという国の推計も出ている中で、安易に会費の減免に踏み切ってしまうと自治会運営予算が減少し、自治会運営が立ちいかなくなる可能性もあるため、会費の減免制度導入については慎重になっている自治会も多いと思われる。

次に、役員の負担・役員の担い手不足という問題である。

質問17の自治会運営上の課題についての質問で、「高齢化」の次に多かったのが「役員の担い手不足」(77.3%)で、4番目に多かったのが「役員の負担が大きい」(46.0%)であった。

質問6の自治会を脱退する理由についての質問で、3番目に多かったのも「役員等になるのが面倒だから」(33.7%)である。

こちらも高齢化の問題と同様、自治会員側・自治会運営側双方に共通する問題となっている。

さらに質問4の未加入の理由として考えられるものについての質問では、「自治会活動が負担なため」(44.2%)という回答が3番目に多い結果となっており、自治会活動自体を負担と感じてしまう人が増えていると思われる。

今回のアンケート調査は現状の把握に努め、今後の自治会加入促進策を検討するために実施したものであるが、課題のほかにもそれぞれの自治会がオリジナリティ溢れる活動などを様々展開し、運営に日々尽力していることも計り知ることができた。他の自治会の運営方法で参考となる点は取り入れていくことも出来ると思われる。

自治会の衰退は地域力の衰退であり、地域の魅力の衰退につながるものである。

今回のアンケート調査が、それぞれの地域の実情に合わせた自治会加入促進策や課題の克服にあたり検討材料となることを願っている。

〈参考〉「自治会加入状況等に関する調査」設問項目

自治会への加入について

質問1 自治会内の全戸数及び自治会に加入している戸数を教えてください。

【戸建て住宅の場合】(回答は、答えられる範囲で結構です。)

① 自治会内における全戸数

_____戸

② 自治会に加入している戸数

_____戸

【アパート・マンション等の集合住宅の場合】(回答は、答えられる範囲で結構です。)

①自治会内における全戸数

_____戸

②自治会に加入している戸数

_____戸

※ 参考としまして、商店、事務所、企業で自治会に加入している戸数
(回答は、答えられる範囲で結構です。)

_____戸

(注意1) アパート・マンション等の集合住宅については、表札が出ていない、オートロック式の玄関、管理人の同意がとれない等、空き室かどうかの判断が難しい場合があるため、明らかに住んでいることが確認できる戸数をご記入ください。

(注意2) この調査の数値は、自治会加入促進策の基礎資料とするためのもので、市からの行政連絡委託料の算定は、これまでどおりの数値を基準とします。

質問2 転入者への対応はどのようにされていますか。

1. 役員(組長、班長等)が個別に訪問し、自治会への加入を勧める
2. 役員(組長、班長等)が加入を勧めるチラシを投函している
3. 転入者から挨拶があったときに、自治会への加入を勧める
4. その他 ()
5. 何も行なっていない

質問3 従来からの未加入者への対応はどのようにされていますか。

1. 定期的に訪問して勧誘している
2. 定期的に加入を勧めるチラシを投函している
3. 不定期に訪問して勧誘している
4. 不定期に加入を勧めるチラシを投函している
5. その他 ()
6. 何も行なっていない

質問4 未加入の理由として考えられるものは何ですか。(複数回答可)

1. 自治会に加入する必要性を感じていない
2. 人間関係が煩わしい
3. アパート・マンション等の一時的な借家住まいのため
4. 時間的余裕がないため
5. 経済的な理由のため
6. 自治会活動に負担を感じている
7. その他 ()

質問5 自治会を脱退される方は過去3年でどれ位いますか(回答は、答えられる範囲で結構です。)

平成27年	世帯
平成28年	世帯
平成29年	世帯

質問6 脱退される方の理由は何ですか(複数回答可)

1. 町会・自治会が何をしているかわからないから
2. 高齢世帯のため自治会活動に参加できないから
3. 忙しくて活動に参加できないから
4. 加入メリットがわからないから
5. 役員等になるのが面倒だから
6. 活動内容に興味・関心がないから
7. 会費を払いたくないから
8. 転居のため
9. その他 ()

質問7 未加入者の勧誘や脱退防止など自治会の加入率向上に向けた、有効な方策は何だと思えますか。(複数回答可)

1. 自治会加入促進キャンペーン(活動写真の掲示、啓発用ティッシュの配布、啓発用ステッカーを貼った公用車の走行など)の実施
2. 各自治会のホームページの作成

3. 自治会加入のメリットとして地元商店街と連携した自治会会員への割引などサービスの提供
4. マンション建設時から開発業者に自治会加入の協力を要請
5. 不動産購入・賃貸契約時に宅建業者から自治会加入の勧誘
6. 役員の負担軽減のため、自治会の事業を見直す
7. 高齢世帯や単身世帯に対して会費や役員の免除制度を導入
8. 自治会の役員が引っ越してきた人を個別訪問し加入を勧める
9. 自治会の運営方法、会計処理に関する研修会を実施する
10. 自治会活動の事例紹介や発表会を行う
11. 加入率低下は時代の潮流であり、方法はない
12. その他 ()

自治会の会費について

質問 8 自治会費の金額を教えてください。(法人等の賛助会員の会費は除く。)

① 定額の場合

月額 _____ 円 又は 年額 _____ 円

② 農家・非農家、所有・賃貸、戸建て・アパートやマンション等で、金額を分けている場合

	区 分	月 額 又は 年 額	
(1)	農家	円	円
	非農家	円	円
(2)	所有	円	円
	賃貸	円	円
(3)	戸建て	円	円
	アパート・マンション等	円	円

質問 9 定期的な会費の他に、入会金等の一時金がありますか。ある場合は、その目的と金額を教えてください。

《例：集会所建設費の一部を受益者となる新会員にも負担して頂くため、入会金等として、10,000円》

1. ある

()

2. ない

質問 10 会費の減免制度はありますか。ある場合は、具体的に教えてください。

《例：80歳以上の一人暮らしは、本人から申請があった場合、会費を半額としている。賃貸住宅の入居者は半額としている。など》

1. ある

（ 具体的内容： ）

2. ない

自治会所有の集会所について

質問 11 集会所がありますか。

1. ある (質問 12・13・15) へお進みください。

2. ない (質問 14・15) へお進みください。

質問 12 集会所がある場合、その所有状況を教えてください。

集会所名		所在地	
所有状況を教えてください。 土地： <input type="checkbox"/> 所有している <input type="checkbox"/> 有償で借りている <input type="checkbox"/> 無償で借りている 建物： <input type="checkbox"/> 所有している <input type="checkbox"/> 有償で借りている <input type="checkbox"/> 無償で借りている			
集会所名		所在地	
所有状況を教えてください。 土地： <input type="checkbox"/> 所有している <input type="checkbox"/> 有償で借りている <input type="checkbox"/> 無償で借りている 建物： <input type="checkbox"/> 所有している <input type="checkbox"/> 有償で借りている <input type="checkbox"/> 無償で借りている			
集会所名		所在地	
所有状況を教えてください。 土地： <input type="checkbox"/> 所有している <input type="checkbox"/> 有償で借りている <input type="checkbox"/> 無償で借りている 建物： <input type="checkbox"/> 所有している <input type="checkbox"/> 有償で借りている <input type="checkbox"/> 無償で借りている			

※複数ある自治会におかれましては、適宜空欄にご記入してください。

質問 13 集会所がない場合、集会所に対してどのように考えていますか。

1. 自治会が所有する集会所がほしい
2. 自治会の所有にはこだわらないが、活動の拠点となる集会所が欲しい
3. 会費の値上げや一時金の徴収等、新たな負担が生じることで、自治会加入率の低下が予想されることから集会所は不要である

4. 集会所がなくても、他の施設を利用して運営しているので支障はない
5. その他 ()

質問 14 新規に集会所の建設や既存集会所の建て替えを検討していますか

1. 予定している
 - (1) 新規 (時期 平成 年頃)
 - (2) 建て替え (時期 平成 年頃)
2. 予定していない

自治会活動について

質問 15 現在行なっている活動を教えてください。(複数回答可)

1. 地域の清掃などの環境美化活動
2. 災害対策や防災対策などの防災活動
3. 交通安全推進活動
4. 子どもの安全、通学路の見守りなどの活動
5. 空き巣、振り込め詐欺などの防犯活動
6. 高齢者、障害者支援などの保健福祉活動
7. 子どもの教育、乳幼児保育などの子育て活動
8. パソコン教室、英会話などの生涯学習活動
9. 祭りや伝統芸能などの維持保存活動
10. 音楽、スポーツなどの趣味のサークル活動
11. 懇親会、旅行などの親睦活動
12. 行政機関や議会などへの陳情活動
13. 共同募金などの徴収活動
14. 自治会ホームページの作成
15. その他 ()

質問 16 自治会活動のうち特徴的な事業があれば教えてください。

()

自治会の課題について

質問 17 自治会運営上の課題について、どう感じていますか。(複数回答可)

1. 構成員の高齢化が進んでいる
2. 役員のなり手が少ない
3. 活動の参加者が少ない
4. 住民の関心が低い
5. 役員の負担が大きい
6. 活動の拠点施設がない

